

授業科目名	地域とつながる歴史学	担当教員	安藤 竜
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1・2年 第3クォーター		
講義内容	<p>1、歴史学とはどのような学問なのか、歴史学と歴史物語、地域史と郷土史との違いなどを踏まえて説明を行う。その上で地域の歴史を自分自身で調査する手法について講義する。</p> <p>2、歴史学を創作や観光・まちづくり、などに活かしている事例と、その考え方について講義する。</p> <p>3、但馬地域の歴史について、祭礼・芸能・城・城下町・銀山・温泉・北前船・産物などの側面から講義する。</p> <p>4、上記をふまえ、但馬地域をフィールドにした歴史学を活かした取り組みを構想する。</p>		
到達目標	<p>1、受講者が事実にもとづいた「歴史」と、創作された「歴史物語」、歴史学と郷土史などの違いをふまえ、自身で地域の歴史を調べられるようになる。</p> <p>2、受講者が歴史学を活用した創作・観光・まちづくりの事例と但馬地域の歴史を結びつけることで、地域の歴史や歴史資源、特産品などを活用した新たな取り組みについて考えられるようになる。</p>		
授業計画	<p>1、オリエンテーション 歴史学とは何か、歴史学と歴史物語、地域史と郷土史とは。 歴史学と観光・まちづくり。地域の歴史の調べ方。</p> <p>2、但馬地域の祭礼と芸能 祭礼の基礎知識。但馬の祭礼。祭礼の芸能と芸屋台・農村舞台。 但東さいさいと神楽。芸能と地域社会</p> <p>3、戦国時代と但馬地域 山名氏と戦国時代の但馬地域。但馬の城と銀山。</p> <p>4、江戸時代の但馬地域 但馬の藩と天領。城下町の構造。但馬の産物。</p> <p>5、但馬地域の温泉と北前船 城崎・湯村温泉の発展と江戸時代の旅・芸能。北前船とは何か。</p> <p>6、まとめ 歴史学を創作・観光・まちづくりに活かすために</p>		
事前・事後学習	<p>【事前】 但馬地域の地図を見ておく、また歴史資源について簡単に調べておく。</p> <p>【事後】 但馬地域の歴史資源を活かした観光地などに実際に訪れる。 自身の関心あるテーマで、歴史を活かした企画・創作物などを作成する。</p>		

テキスト	教科書を使用せず、各回の授業資料（PDF）を配布します。
参考文献	『豊岡市史』『城崎市史』『出石町史』などの自治体史。 より深く理解したい人のためには、授業中に適宜紹介します。
成績評価 の基準	各授業でのリアクションペーパー50%、期末レポート（事後学習に関連したものを講義中に指示する予定）を50%の割合で評価します。
履修上の注意 履修要件	授業後に受講生には各自の気づきや感想、質問などを記入したペーパーを記入してもらいます。これの提出をもって出席とみなします。
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行います。